

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成28年3月17日(2016.3.17)

【公開番号】特開2014-153413(P2014-153413A)

【公開日】平成26年8月25日(2014.8.25)

【年通号数】公開・登録公報2014-045

【出願番号】特願2013-20510(P2013-20510)

【国際特許分類】

G 09 G 3/30 (2006.01)

G 09 G 3/20 (2006.01)

H 01 L 51/50 (2006.01)

【F I】

G 09 G 3/30 K

G 09 G 3/20 6 4 2 A

G 09 G 3/20 6 7 0 J

G 09 G 3/20 6 4 1 P

H 05 B 33/14 A

【手続補正書】

【提出日】平成28年2月1日(2016.2.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

表示装置で表示される画像の輝度むらと色むらの少なくとも一方のむらを補正する補正值を生成する補正值生成装置であって、

前記表示装置の画素毎に、所定の画素値の画像を表示したときの輝度又は色の測定値を取得する取得手段と、

前記取得手段で取得された前記画素毎の測定値に基づいて、前記表示装置の画素のうち、目標値に対応する画素値が設定可能な画素値の範囲外の値となる画素である補正不可能画素を検出手段と、

前記検出手段で検出された補正不可能画素に対して、画素値が非表示の画素値となるように補正值を決定し、前記検出手段で検出された補正不可能画素以外の画素である補正可能画素に対して、画素値が前記目標値に対応する画素値となるように補正值を決定する補正值決定手段と、

を有することを特徴とする補正值生成装置。

【請求項2】

前記取得手段で取得された前記画素毎の測定値に基づいて、前記画素毎の目標値を決定する目標値決定手段をさらに備える

ことを特徴とする請求項1に記載の補正值生成装置。

【請求項3】

前記目標値決定手段は、前記表示装置の全画素に対する補正可能画素の割合が閾値以上となるように、前記目標値を決定する

ことを特徴とする請求項2に記載の補正值生成装置。

【請求項4】

前記目標値決定手段は、時間が経過するほど低い値を前記目標値として決定する

ことを特徴とする請求項 2 または 3 に記載の補正值生成装置。

【請求項 5】

前記非表示の画素値はゼロである

ことを特徴とする請求項 1 から 4 までのいずれか 1 項に記載の補正值生成装置。

【請求項 6】

表示装置で表示される画像の輝度むらと色むらの少なくとも一方のむらを補正する補正值を生成する補正值生成装置の制御方法であって、

前記表示装置の画素毎に、所定の画素値の画像を表示したときの輝度又は色の測定値を取得する取得ステップと、

前記取得ステップで取得された前記画素毎の測定値に基づいて、前記表示装置の画素のうち、目標値に対応する画素値が設定可能な画素値の範囲外の値となる画素である補正不可能画素を検出する検出ステップと、

前記検出ステップで検出された補正不可能画素に対して、画素値が非表示の画素値となるように補正值を決定し、前記検出ステップで検出された補正不可能画素以外の画素である補正可能画素に対して、画素値が前記目標値に対応する画素値となるように補正值を決定する補正值決定ステップと、

を有することを特徴とする補正值生成装置の制御方法。

【請求項 7】

前記取得ステップで取得された前記画素毎の測定値に基づいて、前記画素毎の目標値を決定する目標値決定ステップをさらに有する

ことを特徴とする請求項6に記載の補正值生成装置の制御方法。

【請求項 8】

前記目標値決定ステップでは、前記表示装置の全画素に対する補正可能画素の割合が閾値以上となるように、前記目標値を決定する

ことを特徴とする請求項7に記載の補正值生成装置の制御方法。

【請求項 9】

前記目標値決定ステップでは、時間が経過するほど低い値を前記目標値として決定することを特徴とする請求項7または8に記載の補正值生成装置の制御方法。

【請求項 10】

前記非表示の画素値はゼロである

ことを特徴とする請求項 6 から 9 までのいずれか 1 項に記載の補正值生成装置の制御方法

。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 8】

本発明の補正值生成装置は、

表示装置で表示される画像の輝度むらと色むらの少なくとも一方のむらを補正する補正值を生成する補正值生成装置であって、

前記表示装置の画素毎に、所定の画素値の画像を表示したときの輝度又は色の測定値を取得する取得手段と、

前記取得手段で取得された前記画素毎の測定値に基づいて、前記表示装置の画素のうち、目標値に対応する画素値が設定可能な画素値の範囲外の値となる画素である補正不可能画素を検出する検出手段と、

前記検出手段で検出された補正不可能画素に対して、画素値が非表示の画素値となるように補正值を決定し、前記検出手段で検出された補正不可能画素以外の画素である補正可能画素に対して、画素値が前記目標値に対応する画素値となるように補正值を決定する補正值決定手段と、

を有することを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明の補正值生成装置の制御方法は、

表示装置で表示される画像の輝度むらと色むらの少なくとも一方のむらを補正する補正值を生成する補正值生成装置の制御方法であって、

前記表示装置の画素毎に、所定の画素値の画像を表示したときの輝度又は色の測定値を取得する取得ステップと、

前記取得ステップで取得された前記画素毎の測定値に基づいて、前記表示装置の画素のうち、目標値に対応する画素値が設定可能な画素値の範囲外の値となる画素である補正不可能画素を検出する検出ステップと、

前記検出ステップで検出された補正不可能画素に対して、画素値が非表示の画素値となるように補正值を決定し、前記検出ステップで検出された補正不可能画素以外の画素である補正可能画素に対して、画素値が前記目標値に対応する画素値となるように補正值を決定する補正值決定ステップと、

を有することを特徴とする。